

生駒市医療介護連携ネットワーク協議会（第2回）会議録

開催日時	平成29年5月27日（土） 午後5時00分～午後6時30分
開催場所	生駒市コミュニティセンター 402～404 会議室
出席者 （委員）	溝口委員、霜田委員、竹中委員（井上（雅）委員代理）、今村委員、中栖委員、堀井委員、工藤委員、林委員、井上（太）委員、湯川委員、加藤委員、世古委員、古東委員、橋本委員、小紫委員
欠席者	辻村委員、吉藤委員
事務局	（市事務局）古川特命監、影林福祉健康部長、増田福祉健康部次長、田中地域包括ケア推進課長、吉村健康課長、石田地域医療課長、後藤地域医療課長補佐、渋谷地域包括ケア推進課包括ケア推進係長 （市医師会事務局）土橋次長、畑主任
傍聴	1人
案件	（1）部会報告 ① 平成28年度活動報告 ② 平成29年度の予定 （2）その他 ① 在宅医療介護資源集について ② 「生駒市における地域包括ケアシステム構築に向けたロードマップ」について ③ 平成28年度第2次補正予算総務省医療健康データ利活用基盤高度化事業における地域医療介護連携 ICT 化基盤高度化事業について
資料	（資料1）生駒市医療介護連携ネットワーク協議会委員名簿 （資料2）生駒市医療介護連携ネットワーク協議会開催要綱 （資料3）生駒市医療介護連携ネットワーク協議会 在宅医療介護推進部会平成28年度活動報告書 （資料4）生駒市医療介護連携ネットワーク協議会 認知症対策部会平成28年度活動報告書 （資料5）平成29年度スケジュール （資料6）生駒市における『入退院調整マニュアルづくり』 その他 ・ 在宅医療介護資源集 ・ 「生駒市における地域包括ケアシステム構築に向けたロードマップ」について ・ 地域医療介護連携ICT化基盤高度化事業

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
会長挨拶	<p>1 開会</p> <p>本日はご多忙のところお集まりいただき、ありがとうございます。また、各部会についても様々な議論をいただき、ありがとうございます。</p> <p>生駒市の高齢化のスピードは、全国の上位5%に入っているとされています。平成23年の生駒市の高齢化率は全国平均よりも低い22%でしたが、毎年約0.8%という全国でも早いスピードで進行し、平成29年4月では26.8%と全国平均よりも高くなっています。ただ、生駒市は様々なボランティアの方の力で介護予防の取り組みが非常に進んでおり、活動も盛んです。単純に高齢化率が高いということだけで、その高齢化社会の深刻度や街の雰囲気というものは、はかれないと私は思っています。</p> <p>ボランティアの取り組みは進んでおりますものの、介護における在宅医療のあり方や認知症の問題は今後の生駒市において大きな課題となっていきます。このネットワーク協議会と各部会では、そのような地域医療圏での様々な課題にしっかり対応できる準備を進めていきたいと思っております。生駒市も本年度より地域医療課、地域包括ケア推進課を組織し、受け皿を強化しておりますので、素晴らしい生駒市の地域包括ケアシステムの構築に向け、皆様にもお力添えを賜りますようお願いいたします。本日はよろしく願いいたします。</p> <p>2 委員の変更、代理出席 事務局紹介</p> <p>3 案件</p> <p>(1) 部会報告</p> <p>① 平成28年度活動報告</p> <p>(在宅医療介護推進部会) 資料3に基づいて説明</p> <p>(認知症対策部会) 資料4に基づいて説明</p>
在宅医療介護推進部会会長 認知症対策部会会長	
会長	<p>ありがとうございました。各部会長からご報告がありましたが、平成28年度の活動内容についてご意見・ご質問等ございますか。</p>
委員	<p>初期集中支援チームで認知症の方をケアされて、その結果、どのような成果を得られていますか。</p>
認知症対策部会員	<p>活動を始めてからの実件数は4事例、訪問回数は14回、専門員のチーム委員会議は8回実施しました。この4事例に関しては、アルツハイマー型の認知症の方がほとんどでした。そのうち1事例は、進行性核上性麻痺という神経性の難病が早期に発見でき、適切なケアに繋がったと思います。また、ほとんどが後期高齢者の方で、認知症の症状があっても家族の勧めでは受診に同意せず、症状が進行しているというケースでした。</p>

<p>会長</p> <p>在宅医療介護推進部事務局</p>	<p>ありがとうございました。他にご質問等がなければ、委員・部会員の皆様におかれましては、いま報告を受けました部会の活動内容などについて、各団体の集会等の機会に広くご周知いただければと思います。</p> <p>次に、②平成29年度の予定について、事務局から説明を受けます。</p> <p>② 平成29年度の予定  (在宅医療介護推進部会) 資料5・資料6に基づいて説明</p> <p>入退院調整マニュアルについては、すでに県内で運用されている地域がございます。ここで、郡山保健所の橋本委員から県内の取組状況等についてご報告していただきます。</p>
<p>橋本委員</p>	<p>それでは、奈良県の取組についてご紹介させていただきます。平成27年度に国の事業として東和医療圏の旧桜井保健所管内の地域で、平成28年度には、県のモデル事業として橿原市で退院調整ルール作りを実施しております。平成29年度には、県のプロジェクトとして、郡山保健所管内の西和7町で地域包括ケアの推進を進めています。在宅を見据えた退院時の調整というのは、いわゆる病診連携であり、病院の医師から地域のかかりつけ医への連携です。これはこれまでの歴史の中で医師どうしできっちりなされているというのが現状です。一方、医療機関から家庭に帰るとき、家庭生活・介護を支えるケアマネジャーにどの程度、入院時の状況が伝わっているのか。その上で、十分な在宅介護の準備ができていのかということ、なかなか医療機関とケアマネジャー間の連携が進んでいません。そこで、この部分に特化して連携を進めようということで、国の事業が始まっています。実際、東和地区の例で、事業が始まる前にアンケートをとったところ、病院からケアマネジャーに情報が十分に伝わって退院した患者さんは50%でした。言い換えれば、50%の方は何の準備もなく自宅に帰宅されているということです。そうすると、生活に支障が出たり、再入院になったりしてしまいます。これが事業開始の平成28年7月の結果で、平成29年1月に再度アンケートを実施したところ、64.7%という結果になり、平成29年度始めには70%を超えています。まだ100%には到達していませんが、確実に十分な調整能力を果たしていく事業です。今年度、生駒市でこの事業をぜひ進めていただきたいと思います。</p>
<p>会長</p> <p>認知症対策部事務局</p>	<p>ありがとうございました。続いて、認知症対策部会の事務局から平成29年度の予定について説明していただきます。</p> <p>資料5に基づいて説明</p>
<p>会長</p>	<p>事務局から説明を受けましたが、ご意見、ご質問等ございませんか。特にないようですので、今後も各部会での方針に合わせて具体的な形にしていただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは、次に医師会が中心になって取り組んでいただきました在宅医療介護資源集について生駒市医師会事務局から説明をお願いいたします。</p>

	<p>(2) その他</p> <p>① 在宅医療介護資源集について 資料「在宅医療介護資源集」に基づいて説明</p>
医師会事務局	
会長	<p>ありがとうございました。委員の皆様、ご質問等ございませんか。 さきほど市の事務局から、資源集のデータベース化の話がありましたが、そのデータベースに最新情報がアップデートされるということでしょうか。</p>
事務局	<p>そうです。</p>
会長	<p>他にないようですので、次に、2「生駒市における地域包括ケアシステム構築に向けたロードマップについて」、事務局から説明を受けます。</p>
事務局	<p>②「生駒市における地域包括ケアシステム構築に向けたロードマップ」について 資料「生駒市における地域包括ケアシステム構築に向けたロードマップ」に基づいて説明</p>
会長	<p>ありがとうございました。また後日でも何か意見、質問があれば事務局までご連絡いただければと思います。 それでは、最後に、③「平成28年度第2次補正予算総務省医療健康データ利活用基盤高度化事業における地域医療介護連携 ICT 化基盤高度化事業について」です。本件は、近畿大学医学部奈良病院の平成29年度事業として実施されるものですが、本日お集まりの委員の皆様にも関わりが出てくる事業でありますことから、本日、情報提供いただきたく、説明をいただくものです。 では、近畿大学医学部奈良病院事務長の竹中様、ご説明お願いいたします。</p>
	<p>③ 平成28年度第2次補正予算総務相医療健康データ利活用基盤高度化事業における地域医療介護連携 ICT 化基盤高度化事業について</p>
近畿大学医学部奈良病院 竹中事務長	<p>(竹中事務長から説明)</p>
会長	<p>ありがとうございました。今後は協議会を立ち上げて、取り組みを進めていくということですが、現段階でのご説明について、ご質問等ございますか。</p>
委員	<p>先ほどから、病院から施設への情報提供が不十分だという話が出ています。このICTシステムを使うと、病院の情報を施設に共有、あるいは施設の情報を病院に共有することが可能になります。病院では複雑な画像情報も持っていますので、そういうものを共有する場合、このICTシステムが必要になると思います。しかし、システムを複雑にすればするほど、費用もかかりますし、システムを簡単に使えるかという問題も出てくると思います。</p>

会長	他にご意見やご質問はありますか。
委員	問題は情報のセキュリティです。この部分についてはどう思われていますか。それが一番心配なので。
竹中事務長	今回採用するシステムは、全国で多くの使用例があります。今現在、セキュリティの問題が発生したという報告は聞いておりません。しかし、不安要素はあると思いますので、その部分も含めて協議会等でご説明していきたいと思います。
会長	他にありますか。
在宅医療介護推進部会会長	近大病院が今年度、独自の協議体を作って実施される事業が、在宅医療介護推進部会での取組と密接に関係があることから、先に開催されました部会で、相互の情報交換のためにも、今後、近大病院にも部会員として入ってもらったらどうかとの意見があり、部会においても賛同を得ていますことを報告いたします。会長、よろしく願いいたします。
会長	<p>それでは、部会からの要請もありますので、近畿大学医学部奈良病院から在宅医療介護推進部会員を推薦していただくよう事務手続きを進めさせていただきます。先ほどご説明していただいた内容は、在宅医療介護推進部会の議論と非常に密接な関係があるということですので、近畿大学医学部奈良病院とその協議体の議論も注視しながら、いろいろと意見交換や連携できる部分について協議していきたいと思います。何卒よろしく願いいたします。</p> <p>他に全体を通してのご意見やご質問はございませんか。無いようですので、本日の生駒市医療介護連携ネットワーク協議会(第2回)を閉会いたします。ありがとうございました。</p>